

『向島の豊かな自然と生きものたち』

第12回 カミキリムシ

昆虫採集と標本作りを始めた頃、自宅近くのコンビニに夜になると外灯が明るく照らす外かべや店内が見える窓がガラスに蛾やちっちゃな甲虫に混じって時々カミキリムシが付いているのに気づきました。

仕事を済ませた後の散歩コースになっていたので、ひよいひよい捕まえて標本箱におさめていたらいつの間にかたくさん数と種類になっていました。

このムシの仲間に強い興味はなかったんじゃけど意外とカッコいい姿形に、結構好き害虫となりました。

ある夏の夜、クワガタやカブトムシを捕まえて高見山頂上展望台で灯火採集した夜に、ものすごい数のカミキリムシが集まってびっくりしました。

灯をつけて準備したとたんポツポツと飛んできて「けっこう多いなあ」と思っ
てタッパーに入れてるうちにガサガサゴソゴソブンブンと灯に誘われて白布に来るわ来るわ…

どーでもいーくらい集まって、しかも同じ種類ばかり。クワカミキリとノギリカミキリがいっぱい探れました。

あとで調べると、枯れた松の木を食べるらしい事が分かり「高見山の松枯れに関係あるのかなあ」と思いましたが、松の枯れる原因はほかにあるみたいです。

カミキリムシは全国で800種以上見つかっており、そのうち向島で捕まえたのは36種で向島以外は38種。まだまだいっぱい種類が見つかると思います。

カミキリムシは農業や林業にたずさわる人達にとっては大害虫でもあり、その生態の調査はすすんでいるようですが、まだまだ分かっていない事もいっぱいあるようです。